

「多施設連携情報集約型医療情報DB の実現性研究」に関する情報公開文書

当院では、以下の観察研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんお一人お一人から直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することで実施させて頂くことが許可されております。つきましては、下記の通り、研究に関する情報を公開させていただきますので、この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記の「問い合わせ先」へご紹介下さい。

1. 研究課題名

多施設連携情報集約型医療情報DB の実現性研究

2. 研究機関

データ分析・統計研究と解釈研究の両方に従事する機関

大阪大学医学部附属病院 医療情報部

京都大学医学部附属病院

愛媛大学医学部附属病院

香川大学医学部附属病院

金沢大学附属病院

群馬大学医学部附属病院

佐賀大学医学部附属病院

千葉大学医学部附属病院

筑波大学附属病院

長崎大学病院

新潟大学医歯学総合病院

宮崎大学医学部附属病院

山梨大学医学部附属病院

株式会社 NTT データ

一般社団法人医療統計情報プラットフォーム研究会

分析された統計データの解釈研究にのみ従事する機関

サノフィ株式会社

バイエル薬品株式会社

3. 研究責任・代表者

研究責任者:大阪大学大学院医学系研究科 医療情報学 教授

大阪大学医学部附属病院 医療情報部 部長 松村泰志

研究代表者:京都大学医学部附属病院 医療情報企画部 教授 黒田知宏

4. 研究期間

倫理委員会承認の日～2020年3月31日

5. 倫理委員会承認

本研究は、下記の承認番号の下に倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て行うものである。

承認番号 17478

6. 研究の目的

大学病院で高度な医療を多くの方にご提供する過程で得られた皆様の診療記録は、日本の高度医療の現状を知る上で大変貴重な資料です。複数の大学病院の診療情報をまとめて分析できれば、将来より良い医療を提供できるようになるための、様々な知識が得られる可能性があります。しかし、診療記録は「分析する」事を目的に集められたものではなく、大学毎にデータの持ち方も少しずつ違いますので、分析できるようにするために、一定の「前処理」と言われるデータの変換作業をする必要があります。この研究では、分析をしやすいためのデータの前処理の方法検討し、複数の大学病院から集めたデータに対して様々な分析をすることで、大学病院などのデータをまとめて分析する際に必要な技術を蓄積し、まとめて分析することの効果を図ることを目的としています。

7. 研究の方法

大阪大学に2006年6月1日以降に受診された全ての方のデータを匿名化し、一定の前処理を施した上で、一般社団法人医療統計情報プラットフォーム研究会(通称CISA)が運営するデータベースに、CISAに参加する他の大学病院の患者さんのデータと併せて集積する事で、研究用のデータベースを構築します。また、このデータベースに蓄積されたデータを用いて、様々な統計分析を行い、これを研究者の方々に評価して頂きます。

なおデータベースには以下の項目の情報を蓄積いたします。

- ① 患者属性情報:誕生年、性別
- ② 疾病情報:疾病名、入院外来区分
- ③ 診療基本情報:入退院履歴、外来受診履歴
- ④ 処方情報:処方日、入院・外来区分、薬剤名、数量、単位、処方期間
- ⑤ 診療行為情報:手術歴情報、検査内容

8. 個人情報の取り扱い

データは大阪大学からCISAに集積する前に匿名化されます。したがって、皆様の個人情報が研究活動の中で漏洩する可能性はありません。

9. 情報の二次利用について

本研究で得られた資料や情報を、他の目的で使用することはありません。

10. 研究計画初頭の入手について

研究計画書や研究に関する資料をご希望の場合は、下記問い合わせ先までお問い合わせ下さい。なお、資料のご提供によって、どなたかの個人情報保護、あるいは、研究に伴い発生する知的財産の保護に支障が出る可能性がある場合には、お答えできないこともあることについては予めご承知置き下さい。

11. 問い合わせ先

一般社団法人医療統計情報プラットフォーム研究会

Email: toiawase@cisa.jp

大阪大学医学部附属病院 医療情報部 松村泰志

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-15

Tel: 06-6879-5900